

令和2年度4月教育委員会 会議録

開催日時	令和2年4月20日（月） 15:00～17:00	
開催場所	町民総合会館 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員 綾野克紀委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 教育長に対する事務委任規則改正案について</p> <p>(2) 令和2年度の重点施策等について</p> <p>(3) 令和2年度学校園の組織編制について</p> <p style="padding-left: 20px;">・小学校における教科担任制の導入について</p> <p>(4) 新型コロナウイルス感染症への対策について</p> <p>(5) その他</p> <p style="padding-left: 20px;">・令和2年度教育委員会予定</p> <p>3 連絡</p>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：今年度は小学校の教科書が新しくなり、また中学校は教科書採択の年となる。昨年度末の3月には、国からの小中学校への臨時休業要請が急遽あり、4月からは、学びの保障に向けた時間確保が大切と考え、健康観察・換気・消毒・マスクの着用など予防策を講じながら再開し、順調にスタートしたところだ。しかしながら、16日の国の緊急事態宣言を受けて、21日より再び小中学校を臨時休業とすることになった。町から学校園へ児童生徒用のマスクを配付したが、国からも一人一人にマスク配付があり、全員マスクを着用して活動しており、感謝している。学校の教員には時間差出勤や在宅勤務等を周知したが、児童生徒や教職員の健康・安全を考え、不要不急や県外を超えての外出を5月6日までしないよ</p>
--

う要請している。どうしても、感染警戒地域に行った場合は2週間の自宅待機をすることになっており、感染拡大防止に向けて、一人一人の自覚をお願いしているところである。

2 議事・報告案件

(1) 「教育長に対する事務委任規則」改正案について

猪木課長補佐：教育長に対する事務委任規則第2条の改正案について、職員の人事に関することにおいて、会計年度任用職員および臨時的任用職員に係る部分を改正した。

綾野委員：規則と規程はどちらが上位にくるのか

猪木課長補佐：条例、規則の順番となっているが、規程については再度確認する。

教育長：改正案についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(2) 令和2年度の重点施策等について

教育長：早島町学校教育ビジョンの具現化に向けて、中学校ではE S D、小学校では高学年の教科担任制、幼稚園では人権教育について研究の充実を図りたい。また、支援員の配置では、幼稚園に教育支援員5名、預かり保育支援員3名を配置し、手厚い支援を行っている。I C T教育の推進では、G I G Aスクール構想に向けた教職員研修やオンライン英会話などを推進していきたい。その他、N I Eや読書活動の充実、英検3級の取得を目指し受験を推奨するなど重点施策については学校園と協力をしながら取り組んでいく。

竹井委員：外国語活動とは何をするのか。

教育長：5・6年生は英語が教科となっているが、1年生から4年生は外国語活動で外国語に親しむことに主眼を置いている。

綾野委員：今年度は、英検はコロナウイルスの影響で受験自体ができなくなる可能性もあり、受験者数の増加は難しい目標になるのではないか。

教育長：いろいろな行事がコロナウイルスの影響で中止や変更になっている。日々の状況が変化しており、英検だけでなく、予定が大きく変わるものもあるだろう。まずは第1回の英検は延期され、準会場では6月28日(日)の開催となっている。

綾野委員：G I G Aスクール構想でのiPadの調達はいつごろになりそうか。今ならZ O O Mなどを活用できると思う。

教育長：9月までに510台、12月までに500台を予定している。大容量ネットワークは9月までには実現したい。

重点施策についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(3) 令和2年度学校園の組織編制について

教育長 : 幼稚園では、育休から復帰した教諭が1名おり、支援員の増加もあって充実したスタートとなった。入園式は、縮小した規模で行われたが、年長さんの歌声を録音してお祝いしたそうだが、保護者から大変好評であった。

小学校は、通常学級25学級、支援学級8の33学級でスタートした。5・6年生の高学年では、教科担任制に取り組み、副担任を1名ずつ配置している。中学校は、359名で13学級でのスタートとなった。中学校の異動は3名と少なく、生徒も落ち着いて学習に取り組んでいる。

小学校の教科担任制については、「チーム+1（プラスワン）による小学校教科担任制」を研究テーマに取り組んでおり、学級担任という意識から学年担任へと意識変革を行い、どの児童にもどの教員でも対応できるチーム対応を目指していく。

栗坂委員 : 思春期の入り口に差し掛かっている児童にとっては、いろいろな先生とかかわることができることで、救われる児童も多い。キャリアパスポートとは、どのようなものか。

教育長 : 生き方を振り返るポートフォリオのようなもので、小学1年生から作成し、中学・高校へとつないでいくものである。多くの情報となるので、各学年で数枚にまとめる予定である。学校園の組織編制についてはよろしいか。

全委員 : 了承した。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対策について

教育長 : 小中学校への臨時休業の通知を先週行った。学校でも最新の注意を払っていたが、家庭でも引き続き体調管理を行っていただきたい。また、幼稚園については、臨時休業にしていないが、保護者がご家庭にいる場合には登園自粛をお願いする方向だ。

大森委員 : 会社では在宅勤務等も行っているが、現場の仕事では難しいこともある。

綾野委員 : 学校の教員に対しても、現在の状況を把握し、感染レベルを明示するなど、勤務に関する具体的な通知が必要ではないか。

教育長 : 学校の職員については、県の通知を踏まえ、町の通知を作成しており、その都度共通理解を図るために、早めに通知を出している。時差出勤や在宅勤務についても学校に通知している。

綾野委員 : 学校だけでなく社会全体に感染レベルが明示されていれば、時差出勤や在宅勤務の基準もはっきりする。会議の自粛にもつながるのではないか。

大森委員 : 岡山市では、学校を継続することに批判もあったと聞くが。

教育長 : 今回の場合、どちらを選択してもいろいろな意見が出ることは想定の範囲内である。県アンケートでは、授業継続と臨時休業との声の両方があったと聴いて

いる。どちらを選択しても批判はでるかもしれないが、その都度丁寧な説明を続けたい。義務教育としては、子どもの命を第一に考えたうえで、学力の保障をどうしていくのかを考えていく。可能な限り感染リスクを下げる教育環境の確保していきながら、授業再開ができるようにしたい。

綾野委員：4段階レベルを設定することで、首長は明確な宣言をすることができる。緊急事態宣言が出ている状況では、最大限のレベルと考えるべきではないか。

教育長：コロナウイルスの関係で勉強になることが多く、自分の体調は自分で管理できるよう促していきたいと思う。今回は国の緊急事態宣言によって学校を閉じたが、早島町の対策会議の中で判断するためにも、レベルを決めておくのは大切なことである。国のガイドラインを踏まえて作成している。また、学校が臨時休業になっても、保護者が働いている状況では、完全に学校を閉じてしまうのは難しい。今回は小学1年生～3年生を対象に「学びの舎スクール」と学童を開いているが、保護者が仕事を休めず本当にありがたいという声を聴いている。子どもたちの様子を見ていても生き生きしているので、開催してよかったと思う。約110名利用していただいているが、感染拡大防止に留意しながら取り組みたい。コロナ関連についてはよろしいか。

全委員：了承した。

(5) その他（令和2年度教育委員会予定について）

教育長：年間の学校行事やはやしま学の活動について、現段階の年間予定を確認していただきたい。6月上旬には保護者にも現段階での予定を伝える。

大森委員：コロナの影響で、年間予定も変更があるのではないか。

教育長：現段階で、4・5月の学校行事は中止もしくは延期としている。日々状況が変化している現状があり、今後もその都度検討して早めに伝えたい。

全委員：了承した。

猪木課長補佐：先ほどの件だが、早島町では、条例、規則の次に、規程、要綱、要領があることを確認した。それでよいか。

全委員：了承した。

3 連絡（5月の予定について確認する。）

・5月教育委員会 5月22日（金）15時～16時30分

町民総合会館 2階研修室（ZOOMでWeb会議を行う。）